

つかむ

調べる

まとめる

深める

～緯度と標高の高低差による気候の違いから問題意識をもつ活動～

1. 小単元名『日本の地形と気候』

(教科書：『小学社会 5 上』 p.14～19／学習指導要領：内容（1）イ）

2. 小単元の目標

国土の地形や気候の様子を概観し、人々の暮らしとの関わりやその特色について捉えさせる。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
日本の国土では様々な自然の様子が見られることに気づき、国土の地形や気候の特色について興味をもって調べようとしている。	日本の地形や気候の特色、地域ごとの自然条件の違いについて、地形と気候との関係、季節風のはたらきなどから考え、適切に表現している。	地図や雨温図などの資料を活用して、日本の地形や気候の特色を読み取ったり、調べたりしている。	日本の国土には四季があることや、地域による地形や気候の違い、国土全体の地形や気候の特色について理解している。

4. 指導にあたって

(1) 教材について

本小単元では、日本の地形や気候の特色について捉えていくが、基礎的・基本的な知識としておさえるべき事柄や、資料の読み取りなど習得させなければいけない技能が、3時間という短い単元ながら非常に多い。特に雨温図については、この後の単元の学習でも頻繁に取り扱う資料であるため、読み取り方や比べる視点なども丁寧に指導していく必要がある。また、次の小単元である「自然条件と人々の暮らし」の第1時において、自分たちが住む地域の雨温図を作成する活動が教科書では設けられているが、本小単元でも教師側から資料の一つとして自地域の雨温図を提示できると、他地域との比較という点でも効果が上がる教材となる。

(2) 指導上の工夫・留意点

本小単元は、3時間扱いという短い小単元なので、第1時の学習問題づくりの段階において、児童の学習意欲を十分に高めることに留意する必要がある。また、児童は「北の方の地域は寒く、南の方の地域は暑い」という漠然とした意識をもっている。しかしながら、国土の「北」＝「寒い」／「南」＝「暑い」という、やや極端な意識しかもっておらず、それ以外の地形や気候の特色についての知識はあまりもっていない。そこで、自分たちの生活経験や各種資料を関連付け、実感をもたせながら学習を進める必要がある。自分たちの住む地域と常に比較しながら、それぞれが資料から読み取ったことをもとに自らの疑問や考えを整理し、追究意欲が持続できるように、話し合い活動を設定した。

5. 小単元の指導（総時数3時間）

時数	ねらい	○学習活動
① (つかむ)	日本の国土には四季の変化があることや、地域や土地の高さによって気候に違いがあることを捉え、日本の地形や気候の特色について調べる意欲をもつことができるようにする。	○日本の自然の変化の様子について、様々な資料から読み取り、わかったことをまとめ、学習問題をつくる。
① (調べる)	地図帳や写真資料を活用して日本の山脈や山地、平野、川、海岸線などの様子を調べ、国土の地形の特色について捉えることができるようにする。	○日本の地形の特色について、地図帳や写真資料などから調べ、気づいたことやわかったことを話し合う。
① (まとめる)	日本の気候区分図や各地の雨温図などの資料を読み取ることを通して、国土の気候の特色について考えることができるようにする。	○日本の気候の特色について、雨温図や気候区分図、イラストなどから調べ、気づいたことや考えたことを話し合う。

6. 本時の指導（第1／3時）

(1) 本時のねらい

日本の国土には四季の変化があることや、地域や土地の高さによって気候に違いがあることを捉え、日本の地形や気候の特色について調べる意欲をもつことができるようにする。



(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時の学習問題づくりにおいて、児童にもたせたい問題意識は、「**南北の地域差（緯度の高低差）における気候の違い**」と、「**土地（標高）の高低差による気候の違い**」の2点である。「南北の地域差における気候の違い」は、桜の開花や紅葉の時期が地域によって違うことを教科書の資料から読み取らせることで、疑問をもたせることができる。一方、「土地の高低差による気候の違い」は、教科書の「山の上とふもとの様子のちがい」の写真だけでは、児童に問題意識をもたせることはやや難しい。そこで本時では、資料上ではほぼ同じ桜の開花時期であっても、実際には1ヶ月以上の開花時期の差がある、本校（標高約15m）と児童が本年度訪れる「**自然の教室**」（標高約1000m）の桜の写真を提示することで、「土地の高低差による気候の違い」に対しての問題意識をもたせる。

以上のような学習では、それぞれの資料から読み取った情報を比較・関連付け・総合して考えなければならず、取り扱う資料や情報も膨大なものとなる。そこで本時では、二人組で、それぞれが異なる資料（「桜がさく時期のちがい」と「かえでやもみじが紅葉する時期のちがい」、「桜がさく時期のちがい」と「地図帳」など）を分担して読み取り、それをもとに情報を持ち寄って話し合う活動として、ジグソー形式の学習を設定する。

このような活動を設定することで、児童が主体的に資料の読み取りを行い、自分なりの考えをもって話し合い活動に取り組むことができると考えた。また、共有した情報をもとに話し合うことで、より多面的に思考することができ、自分の考えに自信をもって表現できると考えた。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○沖縄（1月）と北海道（5月）の桜の写真を提示し、同じ日本の国土の桜でも、4ヶ月も開花時期が違うことから、疑問や予想を話し合う。</p> <p>T: 2枚の写真を見比べて、疑問や予想を発表しましょう。</p> <p>C: 同じ桜なのに、なぜ4ヶ月も開花時期が違うのだろう。</p> <p>C: 場所が違うと思う。南は暖かくて北は寒いから、南の桜が早く咲いて、北の桜が遅く咲く。</p> <p>T: みんなの住んでいる地域の桜は、何月頃に咲きますか。</p> <p>C: 3月の終わりです。</p> <p>T: 同じ日本の国土でも、自然の様子が全く違うのですね。今日は、これについて調べてみましょう。</p> <div data-bbox="256 819 967 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>日本の国土では、自然の様子にどのような違いが見られるだろう。</p> </div>	<p>◎資料 ◇留意点 ◆評価</p> <p>◎沖縄の桜の写真</p> <p>◎北海道の桜の写真</p> <p>◇自分たちの住んでいる地域の桜の開花時期を想起させることにより、実感を伴って考えられるようにする。</p> <div data-bbox="1027 589 1433 757" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>北海道と沖縄の桜の写真から、日本の地形と気候に関する興味・関心をもつ。</p> </div> <div data-bbox="1007 808 1441 947">  <p>沖縄の桜（1月） 北海道の桜（5月）</p> </div>
8	<p>○ペアで「カ桜がさく時期のちがい」と「キかえでやもみじが紅葉する時期のちがい」を分担して読み取り、資料から分かったことを互いに交流する。</p> <p>T: それでは、それぞれの資料から分かったことをお互いに話し合しましょう。</p> <p>C: カから分かることは、桜は南の方から北に向かって、咲いていきます。写真の桜は、1月のものが沖縄で、5月のものが北海道だと思います。</p> <p>C: キから分かることは、紅葉は北の方から南に向かっていきます。</p>	<p>◎カ桜がさく時期のちがい</p> <p>◎キかえでやもみじが紅葉する時期のちがい(教科書5上p.14)</p> <p>◎日本地図</p> <p>◇ペアで交流した後、学級全体でも分かったことを共有する。</p> <div data-bbox="1007 1301 1433 1469" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>ペアで別々の資料から分かったことを教え合い、日本の地形と気候について考える。</p> </div>
5	<p>○ペアでカとキから分かったことを比較し、二つの資料から考えられることを話し合う。</p> <p>T: 二つの資料から考えられることは、どんなことですか。</p> <p>C: 日本の国土は、南の方から暖かくなっていき、北の方から寒くなっていきます。</p>	<p>◇ペアで話し合った後、学級全体でまとめていく見通しをもたせておく。</p>
7	<p>○「小学校にある桜の写真」と『自然の教室』にある桜の写真を見比べる。</p> <p>T: この桜の写真は、みんなが行く「自然の教室」の桜です。何月に咲くと思いますか。</p> <p>C: カで「自然の教室」の場所を見ると、4月の初め頃です。</p>	<p>◎自校の桜の写真</p> <p>◎「自然の教室」の桜の写真</p> <div data-bbox="1007 1821 1422 1966">  <p>学校の桜（3月） 自然の教室の桜（5月）</p> </div>

<p>5</p>	<p>○学校と「自然の教室」とでは、距離があまり離れていないのに桜の開花時期が違うことを知り、そのことに対する疑問や予想をペアで話し合う。</p> <p>T:「自然の教室」の桜が咲くのは5月の後半です。北と南であまり離れていないのに、学校の桜と開花時期が2ヶ月も違うのは、どうしてだと思いますか。ペアで話し合ってみましょう。</p> <p>C:南北に離れていないのに、どうして2ヶ月も開花時期が違うのだろう。</p> <p>C:北と南以外でも、気候が違う理由があるのだと思う。</p> <p>C:地図帳を見ると、ここよりも「自然の教室」の方が標高の高いところにあるようだ。</p> <p>C:標高の高い地域と低い地域でも、気候の違いがあるのかもしれない。</p>	<p>◎地図帳</p> <p>地図帳をもとに、桜の開花時期には南北の差だけではなく、土地の高低差も関係していることを、ペアで予想する。</p>
<p>10</p>	<p>○疑問や予想を整理して学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <p>T:日本の国土では、自然の様子にどのような違いが見られそうですか。</p> <p>C:日本の国土は北と南など、地域によって気候が違います。</p> <p>C:土地の高いところと低いところでも、気候が違います。</p> <p>T:それでは、学習問題をつくりましょう。</p> <div data-bbox="256 1312 967 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題</p> <p>日本の地形や気候には、どのような特色があるのだろう。</p> </div> <p>T:何をどのように調べていけば、いいでしょうか。</p> <p>C:南北などの地域の違いによる気候の違いを、教科書や資料集で調べていきたい。</p> <p>C:土地の高さによる気候の違いを図書室の本で調べたい。</p> <p>C:土地の高いところや低いところなど、日本の国土の地形はどのようになっているのか、地図帳で調べたい。</p> <p>T:では、次の時間から詳しく調べていきましょう。</p>	<p>◇本時の課題を再確認し、本時の学習内容全体を振り返るようにする。</p> <p>1月の北海道の様子の写真や、5月の沖縄の様子の写真など、同じ時期の様子が分かる写真資料を追加して、比較させてもよい。</p> <p>◆日本の国土には四季の変化があることや、地域や土地の高さによって気候に違いがあることを捉え、日本の地形や気候の特色について調べる意欲をもっている。 (関・意・態／ノート)</p>